

経過	入院(手術前日まで)	手術日	手術翌日	手術後2日目	手術1週間目	回復期・亜急性期	退院後の治療計画	
日時	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)			
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> *手術準備ができる *痛みが緩和できる *不安なく手術を受けることができる *手術後は安静を保つことができる 	<ul style="list-style-type: none"> *痛みが緩和できる *静かに手術を受けられる *手術後は静かに休むことができる 	<ul style="list-style-type: none"> *肺塞栓・術後感染等の合併症がない *安静を保つことができる *血を抜くための管が抜ける *車椅子へ移動できる *機械を使って膝の曲げ伸ばしができる 	<ul style="list-style-type: none"> *血を抜くための管が抜ける *車椅子へ移動できる *機械を使って膝の曲げ伸ばしができる *退院先を決めることができる 		<ul style="list-style-type: none"> *身の回り動作や移動が安全にできる *動作時の注意点が理解できる *標準体重を把握し、1日の必要エネルギーを理解できる 		
治療処置 薬剤	<ul style="list-style-type: none"> *入院前まで服用されていたお薬は看護師がお持ちします *特に高血圧・糖尿病・心臓病のお薬や血をサラサラにするお薬を服用されている方はお知らせ下さい 	<ul style="list-style-type: none"> *朝のお薬は看護師がお持ちします *手術衣に着替えます *手術後は持続で点滴を行います *翌日まで酸素とモニター管理し状態の変化を観察します *血を抜くために患部に管が入っています *機械を使用して管から出血した分の血液を戻します 	<ul style="list-style-type: none"> *抗生素の点滴を行います *状態が安定していれば酸素とモニターを外します。 *痛みが和らぐように援助します *毎日リハビリを行います *ベッド上でのリハビリを開始します 	<ul style="list-style-type: none"> *血を抜くための管を抜きます *管が抜けた後から中止薬を再開します *痛みが和らぐように援助します *管が抜けた後から血の塊ができないよう内服薬を開始します *機械を使って膝の曲げ伸ばしをします *リハビリ室でリハビリします 	<ul style="list-style-type: none"> *抜糸します 	退院、転院、転棟の検討	 <ul style="list-style-type: none"> *退院後、再来日に来院して下さい *お薬があれば、続けて内服して下さい *感染を起こす可能性がありますので、何か症状があれば受診されて下さい 	
リハビリ								
検査	<ul style="list-style-type: none"> *手術に必要な検査を行います(外来で行うこともあります) 	<ul style="list-style-type: none"> *手術後に手術室でレントゲンの撮影をします 	<ul style="list-style-type: none"> *貧血チェックのため朝から採血します 		<ul style="list-style-type: none"> *朝から採血します *レントゲンの撮影をします 	*血液検査やレントゲン撮影を適宜行います		
活動 安静度	<ul style="list-style-type: none"> *安静の制限はありません 	<ul style="list-style-type: none"> *歩行もしくは車椅子で手術室に行きます 	<ul style="list-style-type: none"> *ベッド上での安静が必要です 	<ul style="list-style-type: none"> *車椅子へ移ることができます 		*入院前と同様の移動が可能となります		
食事	<ul style="list-style-type: none"> *手術前日までは食事・水分の制限はありません 	<ul style="list-style-type: none"> *手術前は食事・水分は指示があります *手術後1時間で水分を摂って頂きムセがない事を確認します *夕食より食事が始まります 						
清潔	<ul style="list-style-type: none"> *浴室で入浴できます *洗面器・石鹼等の用意をして下さい 	<ul style="list-style-type: none"> *朝の8時~9時間の間で入浴します *入浴時間はお知らせします 	<ul style="list-style-type: none"> *入浴できないためタオルで拭きます 	<ul style="list-style-type: none"> *傷口を濡れない様にして入浴します 		*一人で浴室で入浴できます		
排泄	<ul style="list-style-type: none"> *トイレで排泄できます 	<ul style="list-style-type: none"> *手術後はベッド上での排泄になります 		<ul style="list-style-type: none"> *管が抜けた後からトイレに移ります 		*一人でトイレで排泄できます		
教育 指導 説明	<ul style="list-style-type: none"> *手術の説明を致します 説明後、同意書に署名をして下さい 看護師に渡して下さい *介護保険についてお尋ねします 	<ul style="list-style-type: none"> *色々な管を触らないようにしましょう 		<ul style="list-style-type: none"> *移動方法の指導を行います 	<ul style="list-style-type: none"> *必要に応じて、介護保険の説明を行います 	<ul style="list-style-type: none"> *必要に応じて自宅訪問調査を行い、環境調整などのアドバイスをします *本人・家族へ身の回り動作が安全に行えるように指導します 	<ul style="list-style-type: none"> *退院後に感染を起こす可能性がありますので、患部(傷口)は清潔に保ってください *怪我による傷をつからないようにしてください *立ちしゃがみやたたみに座るなど、無理に膝を曲げる様な動作(正座など)は避けてください *膝に負担のかかる動作(階段、坂道を歩く)などは控えてください *肥満を防ぎ、標準体重を維持できるように間食などは控えてください 	
服薬指導	<p>*持参されたお薬の作用、副作用について薬剤師が説明を行います。新しく薬が出た場合は、内服方法や作用・副作用について説明します</p>							
栄養指導	<ul style="list-style-type: none"> *入院前の食事の事をお尋ねします 	<p>栄養管理の必要性：なし。あり</p>						
観察	<ul style="list-style-type: none"> *痛み・痺れ・足の動きの観察をします *体温・血圧等の測定をします *痛みの有無の確認をします 	<ul style="list-style-type: none"> *管からの出血量や性状を観察します *傷の状態の観察を行います 						
在宅復帰支援計画	<p>() 病状の安定を図り、安心して生活する為の支援を行います。</p> <p>() 日常生活動作が維持できるような環境設定の提案や介助方法等を家族・療養にかかるスタッフへ指導します。</p> <p>()</p>							

主治医：

印

令和 年 月 日

本人または家族の承諾サイン：

【在宅復帰支援担当者】津田 香月 【担当MSW】4階北(香月) 5階北(栗津) 3階南(栗津) 4階南(増永) 5階南(中村)
 【担当管理栄養士】4階北(吉村) 5階北(松本) 3階南(吉村) 4階南(高宮) 5階南(高宮)

*注:入院期間は、現時点で予測されるものである・病名等は現時点で考えられるものであり、今後検査などを進めていくに従って変わりうるものである

熊本セントラル病院

書式番号:2105-2020